



**【大分県豊後大野市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
(合同部活動の推進に関する実証事業)**

自治体名	大分県豊後大野市
担当課名	学校教育課
電話番号	0974-22-1001

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	3 2 9 1 0 人	部活動数	4 1 部活
公立中学校数	7 校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	7 3 4 人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

豊後大野市の運動部活動の現状

小中一貫教育校設置により全町に中学校存続の中、生徒数減少による部活動の廃止が加速。

①生徒数の減少（向こう10年で約10%の減）

②専門性、指導経験の少ない顧問



学校と地域のニーズを踏まえた総合型地域スポーツクラブの検討



朝地フレンドクラブを中心に移行研究

地域移行における豊後大野市の課題

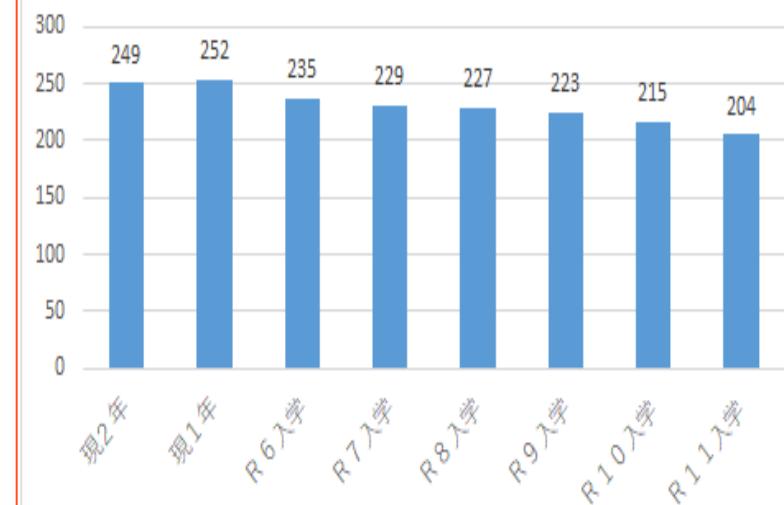
①地域での受け皿確保

④受益者負担の増加

②指導者がいない

③中体連出場のための細則への対応

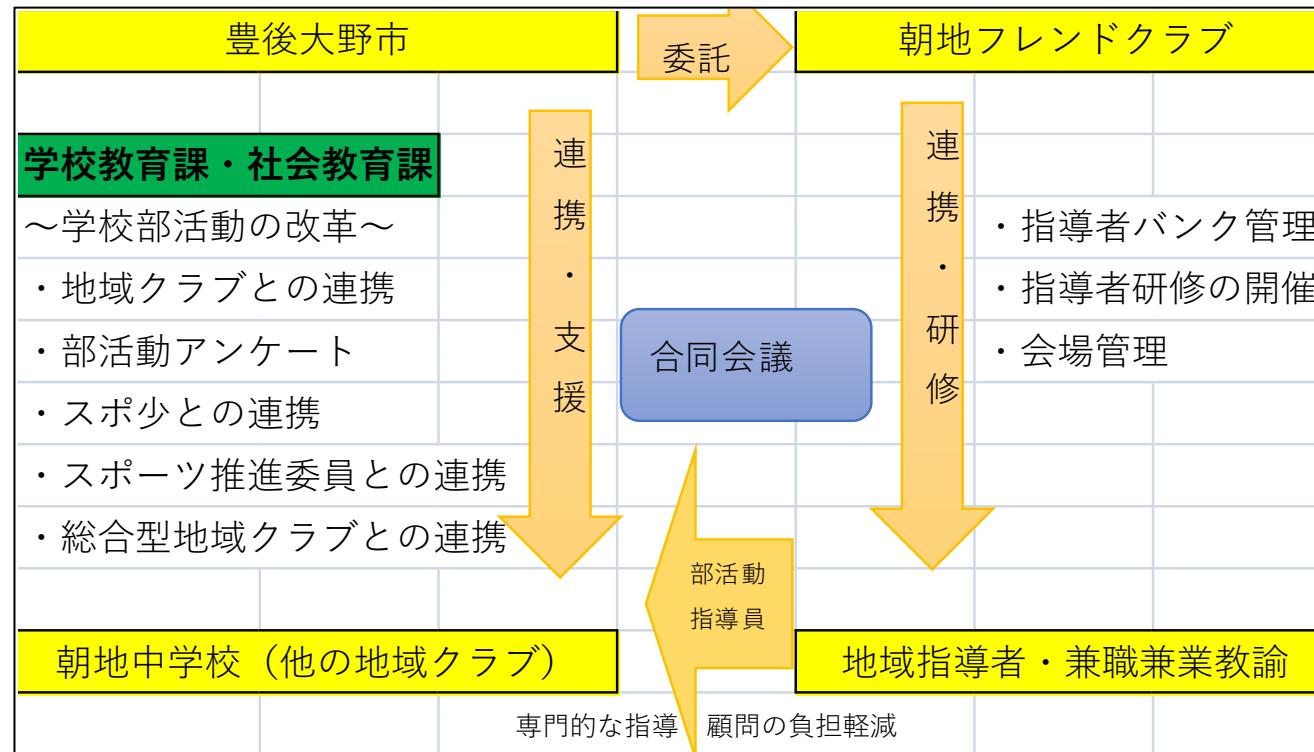
生徒数の推移



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内の役割分担

● 教育委員会（学校教育課）

- 地域クラブとの連携
- 協議会の開催
- 内部検討委員会の開催
- 学校との連携、連絡調整

● 教育委員会（社会教育課）

- スポーツ推進委員との連携
- スポ少との連携
- 2年後の地域クラブ化に向けての準備

年間の事業スケジュール

- | | |
|-------------------------|------------------------------------|
| ・内部検討委員会（5月・9月・2月） | ・子どものスポーツ環境のあり方を検討する協議会（6月・11月）の実施 |
| ・教職員への地域移行に向けた方針の周知（8月） | ・保護者への地域移行についての周知（10月） |
| ・スポーツ少年団関係者への周知（11月） | ・顧問、スポ少指導者との協議（12月以降） |

2. 実証内容と成果

合同部活動の運営実績

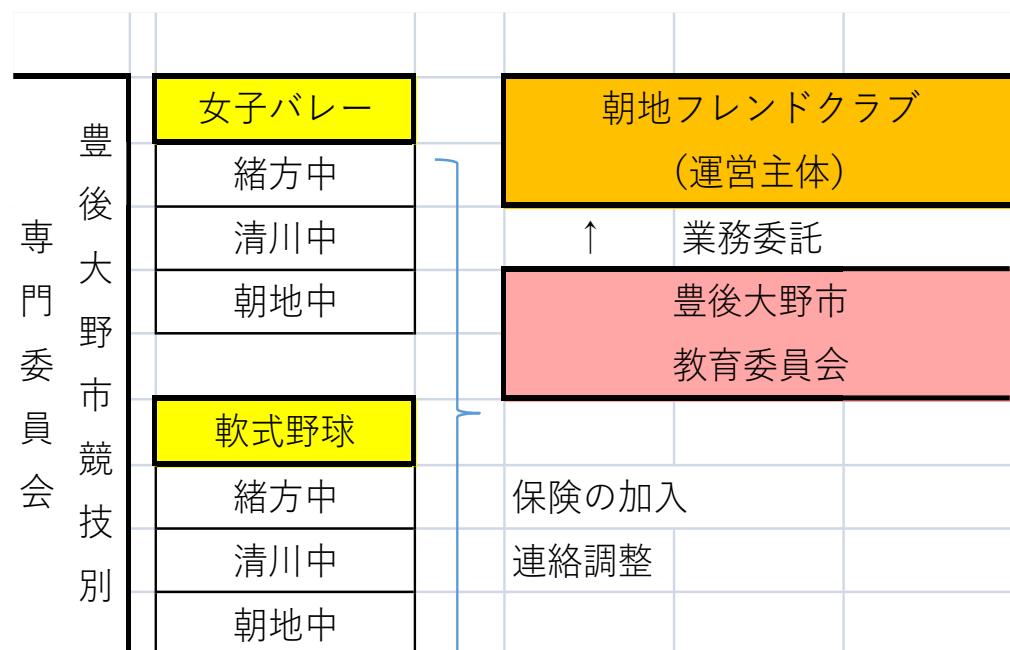
参加校数	3校	実施した種目	軟式野球、女子バレー、ボール
合同部活動に取り組んだ部活動数	6部活		

主な取組例

▼活動概要

参加校名	清川中学校、緒方中学校、朝地中学校
実施した種目	軟式野球、女子バレー、ボール
1か月あたりの平均的な活動回数	月4回程度（平日2回、休日2回）
顧問の属性	緒方中学校の教師が顧問を担当
指導者の主な属性	顧問）教師
活動場所	各中学校
主な移動手段	タクシー
1人あたりの参加会費（年額）	0円/年
1人あたりの保険料	生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1850円/年 (スポーツ安全保険)

▼運営体制図（合同部活動を実施する際の運営体制）



▼参加校における役割分担

● 緒方中学校【拠点校】

- ・拠点校として顧問教師の配置し、トラブル発生時の現場での初動対応
- ・トラブル発生時の自校の生徒・保護者への各種対応
- ・参加校間の定期的な連絡会等の開催・出席

● 清川中学校、朝地中学校

- ・自校の生徒の保険加入手続き
- ・トラブル発生時の自校の生徒・保護者への各種対応
- ・参加校間の定期的な連絡会等の開催・出席

2. 実証内容と成果

取組内容

取組事項

部活動に入る生徒数の減少から、単独校での部活動運営が難しく、合同部活動による運動機会の保障を行う。

取組の成果

- 中学校3年生の引退に伴い、部員数が大会参加人数に満たない状況があった。中体連、競技専門部、市教委と協議し、地域移行に向けて緒方・清川・朝地を合同部活動とした。
- 指導ができる教職員が、緒方中学校所属のため緒方中を拠点とした。
- 参加校それぞれの学校長による申請を行った。

種目名	男子							女子						
	部員数							部員数						
	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼
陸上競技	8							10						
水泳	1			1										
バレーボール	19							21	5	5	5	7	7	7
バスケット	10							19						
軟式野球	27	4	2	2	7	5	3	0	0	0	1	0	0	0
ソフトボール								10						
柔道	6							1						
剣道	2		4	2	2	0		3		0	1	3	2	
ソフトテニス	15							5	8					4
卓球	12	4	9	5	6			10	8	5	10	3	7	
バドミントン	0							6			1			
合計	100	8	15	10	15	5	18	86	10	15	11	17	9	11

特に工夫した事項

地域移行を見据えての、学校の組み合わせを行った。

今後の課題と対応方針

- 受け皿となる団体を募集していく必要がある。
- 人数がさらに減少していくと、3つの学校でもチームが成り立たない状況が出てくる可能性がある。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

現在の合同部活動の支援強化

1 合同部活動の実施・支援

- (1)実施曜日の選定 水、土の週2回
- (2)実施時期 6~2月
- (3)時間保障 掃除カット、短縮授業、5校時終了の日
- (4)移動手段の確保 タクシー等
- (5)合同部活動でない曜日の実施日

2 合同活動の指導体制

- (1)指導者の決定 指導場所、指導者の移動
- (2)部活動に加入していない子どもの指導
- (3)合同部活動でない日の各校での部活動体制確立

入部したい部活動

中学校1年	第1希望	第2希望	第3希望
軟式野球	43	3	8
卓球	41	35	18
バレーボール	39	33	17
ソフトテニス	26	15	23
吹奏楽	20	11	13
バスケットボール	17	23	27
入りたい部活動はない	17	15	58
美術	13	23	16
陸上競技	5	16	7
バドミントン	10	30	15
剣道	6	8	7
ソフトボール	3	8	9
科学文化	3	8	10
柔道	3	1	3
水泳	2	11	10
太鼓隊	1	6	6

6年	第1	第2	第3
軟式野球	35	10	12
ない	29	69	104
バレーボール	25	19	14
美術	25	12	5
卓球	23	18	15
バスケットボール	16	16	11
バドミントン	12	19	12
水泳	12	7	3
陸上競技	10	7	7
剣道	9	8	10
ソフトテニス	8	11	8
ソフトボール	7	2	2
科学文化	3	8	6
吹奏楽	3	10	8
空手道	2	2	2
太鼓隊	2	1	1
柔道	2	6	5
太鼓隊	0	7	3

5年	第1	第2	第3
バレーボール	28	14	10
ない	27	46	73
卓球	27	16	18
軟式野球	26	7	5
美術	19	13	10
バドミントン	18	24	21
水泳	15	17	11
バスケットボール	9	12	14
剣道	9	7	6
吹奏楽	8	12	9
ソフトテニス	4	14	16
科学文化	4	5	7
空手道	3	6	2
太鼓隊	3	6	4
陸上競技	3	9	9
柔道	1	1	2
ソフトボール	0	7	3

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



3校が集まっての合同練習の様子



同じユニフォームを着ての練習試合の様子



合同部活動対地域クラブチームとの試合



新人大会開会式の様子

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ*

今後の学校部活動及び新たな地域クラブ活動について

豊後大野市教育委員会

- 基本方針 ①生徒の運動機会を保障します
②平日及び休日の部活動を段階的に地域の活動に移行します

地域の
スポーツクラブへ

